

# 私たちの未来を創るために 私たちが考えていかなければならない課題

私たちの社会には、私たち自身が取り組んでいかなければならない様々な課題がある。しかし、これらの課題について、答えを見つけることは簡単ではない。様々な人々と共に考え、答えを探しながら、私たちの未来を創っていきましょう。まず、どのような課題があるのか、何が問題となっているのか調べてみよう。そして、解決に向けて大切なことは何かを考えよう。お互いの考えを伝え合って、自分たちに何ができるかを話し合ってみよう。

私たちの未来につながる扉を開けて、探求してみよう

■ 環境問題を解決するために、私たちは自然とどう関わっていけばよいだろう。

環  
境



■ 異なる文化の人々が、理解し合い、共に生きていくために大切なことは何だろう。

異文化理解



■ 科学技術や医療の発展の中で、かけがえのない命を守るために、私たちはどんな選択をしていけばよいだろう。

生命倫理



■ 地域の生活で人々の豊かなつながりを実現するために、何が必要だろう。

地域社会



■ 情報社会を生きていく上で、大切なことは何だろう。

情報

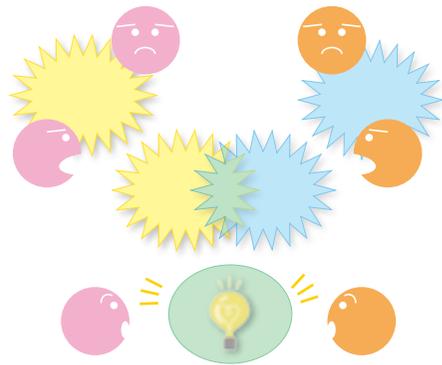


## 対立を乗り越えるために

持続可能な社会づくりには、様々な利害の対立や価値観の相違を乗り越えて、新たな価値観や考えを生み出すことが求められている。

私たちの生活の中でも、意見や考え方が異なっているとき、つい相手を言い負かそうとして言い争いになってしまうことがある。

意見の対立や様々な異なる考えに出会って話し合う中から、共に新たな考えや価値観を生み出していくためには、どんなことが大切だろうか。



- 意見が異なる人たちとの話し合いや討論で大切にしたいことを箇条書きにしてみよう。グループで話し合っ、まとめよう。

私が大切にしたいこと

話し合っ考えたこと

## 持続可能な社会とは

持続可能な社会とは、「持続可能な開発」を実現する社会を意味している。

「持続可能な開発」とは、国連に設置された「環境と開発に関する世界委員会」の報告書では、「将来の世代のニーズを満たしつつ、現在の世代のニーズも満足させるような開発」とされている。

ここには、環境保全と開発を対立する関係として捉えるのではなく、環境に配慮した開発によって、現在から将来にわたって豊かな社会を築くことができるという考えが込められている。

持続可能性という考え方は、環境だけでなく、貧困、人口、食糧、民主主義、人権、平和を含む。持続可能性とは、最終的には、道徳的・倫理的な原則であり、そこでは、文化的多様性や伝統的な知識が尊重される必要がある。

(ユネスコ テサロニキ宣言 10項 1997年)

テサロニキ宣言は、持続可能な社会づくりのためには、地球規模で起こっている様々な問題に取り組むことと様々な地域の伝統や文化を大切にすることとの両方が必要であるとしている。私たちが生活している身近な地域と世界とを関連づけて考え、行動することが求められているのである。

次の二つの標語には、持続可能な社会づくりに向けて大切なメッセージが込められている。これらを手がかりに、持続可能な社会を目指す上で、どのようなことが大切なのか考えてみよう。

“Think globally, act locally.” (地球規模で考え、地域で行動する)

“Think locally, act globally.” (地域で考え、地球規模で行動する)



「持続可能な社会づくり」をテーマに、世界34カ国から参加した高校生が、国や地域、学校での取組や課題を発表し、「私たちは何をすべきか」を話し合った(2014年ユネスコスクール世界大会 Student (高校生)フォーラム)

## 野生生物の保護を考える

野生生物とは、飼育されていない野生種の動植物のこと。

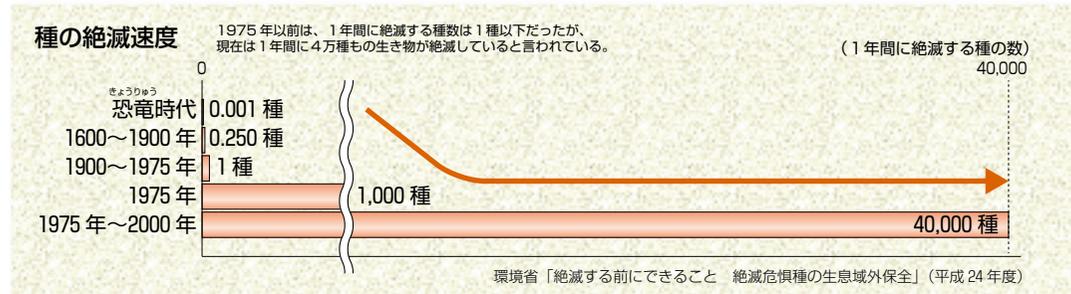
我が国では、平成4(1992)年に、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」が制定されている。

### 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(抜粋)

(目的)

第一条 この法律は、野生動植物が、生態系の重要な構成要素であるだけでなく、自然環境の重要な一部として人類の豊かな生活に欠かすことのできないものであることに鑑み、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存を図ることにより、生物の多様性を確保するとともに、良好な自然環境を保全し、もって現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

これまでの長い地球の歴史の中で、生き物の絶滅は自然に起こってきた。しかし、近年、そのスピードが加速している。



日本に生息又は生育する野生生物のうち、絶滅のおそれのある種数は3,597種(平成26(2014)年4月1日現在[環境省])となっている。

●野生生物の保護は、なぜ大切なのだろう。あなたの考えを書いてみよう。

## 生物多様性を考える

地球上の生き物は長い歴史の中で、環境に適応して様々な進化してきた。これらの生き物には一つ一つに個性があり、それぞれが直接的・間接的につながり合い、支え合っている。

このような生き物たちの豊かな個性と、それらのつながりのことを生物多様性という。

### 生態系の多様性



### 種の多様性



### 遺伝子の多様性



### 多様性と共通性



生命誌絵巻  
多様な生き物が長い時間の中で誕生した様子を表している。

この扇の縁には、様々な生き物が描いてあります。キノコ、ヒマワリ、イモリ、ゴリラ……それぞれが食べ物も違えば、生き方も様々です。「多様性」です。ところで生物学はこれらの生き物がすべて細胞でできており、その中にDNAが入っているという「共通性」を見いだしました。そこで祖先は一つと考えています。扇の要は約38億年前、そこに祖先細胞があります。38億年もの長い時間をかけて、「多様だけれど共通、共通だけれど多様」という世界をつくってきたのが生き物の特徴です。ここでとても大事なものは人間も生き物の一つであり、仲間であるということです。

なかむら けいこ  
(中村桂子：JT生命誌研究館館長)

## 外来種の問題から、野生生物の保護を考える

外来種とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことである。人間が飼育しきれずに自然に放したり、物流の中で荷物に紛れ込んだりするなどして、他の地域へと移動している。外来種の中には、地域の自然環境に大きな影響を与え、その土地固有の生物を、絶滅の危機に追いやってしまうほど食べてしまうものもいる。



アメリカザリガニ



ブラックバス



マングース



グリーンアノール

- これまでの内容を踏まえて、野生生物との共存をどのように図っていくべきだろうか。あなたの考えを書いてみよう。

## 私たちの生活から、野生生物の保護を考える

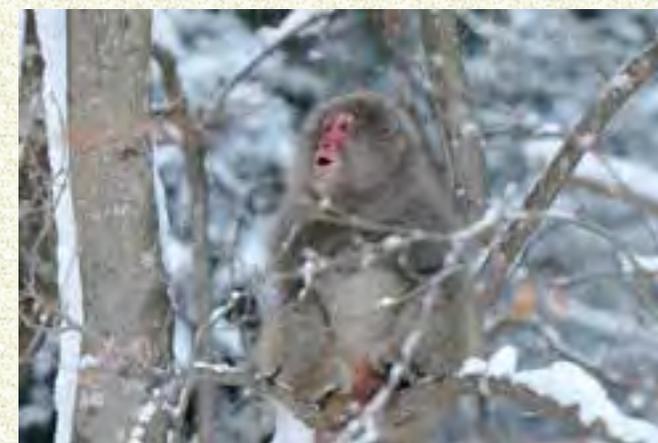
野生生物の保護に当たっては、私たちの生活との関係も考えていかなければならない。

私たちは、自分たちの生活を向上させるため、野生生物の生活の場である森林を伐採したり、海を埋め立てたりするなどの開発を進めてきた。一方で私たちは、これらにより恩恵を受けてきたという一面もある。



### 考えてみよう

青森県下北半島に生息するニホンザルは、世界で最も寒い地域に住むサルとして、国の天然記念物に指定されている。このことから、サルの住む村では保護政策を推進した。しかし、長年の保護の結果、ニホンザルは数を増やし、食べ物を求めて畑を荒らすなど住民の生活を脅かすようになってきた。やむを得ず住民はニホンザルの駆除に動き出した。



## 立場の異なる人と同じゴールを見付け出す

獣医師 齊藤 慶輔

「獣医師」と聞くと、みなさんは普通、犬や猫を診る獣医さんを思い浮かべるのではないでしょうか。けれども獣医師にもいろいろあります。僕は、「野生生物の獣医師」です。中でも、ワシ、タカ、フクロウなどの猛きん類が専門です。

オオワシやオジロワシがけがをしたり、命を落としたりする原因として非常に多いのが、感電事故です。猛きん類は周囲を広く見わたせる高所に止まろうとする習性があります。人の住む街々と発電所をつなぐ鉄塔は、彼らの目には格好の止まり場所に映ります。しかし、鉄塔に止まろうとして電線に触れてしまった場合はもちろんのこと、高圧の電流が流れているところでは、数十センチメートルまで電線に近付いただけで感電することがあります。また、環境に配慮した発電方法として熱い視線を集めている風力発電の風車にぶつかって命を落とす鳥もいます。そのほかにも多くの鳥の死因には、何らかの形で人間が関わっています。



オオワシ

これらの問題は、「オオワシは貴重な野生動物なのだから、対策をしてもらわないと困ります。」と電力会社に言えば済むという一筋縄で解決できるものではありません。僕は希少な猛きん類を死なせたくないという思いがありますが、別の人にとっては、動物を守るより大事なことがほかにあるのです。寒さの厳しい北海道で電気が止まったら、場合によっては人の命が危険にさらされる事態を引き起こします。そのような事態が起こらないように電気を確実に人々に届けることが最大の使命ですから、オオワシはむしろ、停電事故を起こす厄介者かもしれません。ですから、「オオワシが大事だから鉄塔を撤去しろ。」なんて、そう簡単に言っていないことではないのです。

したがって、まずは、どんな工夫をすれば事故を防げるのかを考え、どれほどの規模で対策をするのかを考え、どれだけのお金と手間をかけられるのかを考え、作業をする

ときにどんな問題が起きるかを考えなければなりません。そこで僕は、徹底的に準備をします。ワシがいったいどこにどうやって止まるのか、どんなものを取り付ければ止まらなくなるのか、実験を繰り返しました。そして、「こんな対策がありますよ」とこちらから提案するのです。

また、電力会社と話をするのに、「電気のことには全くわかりません」と言っていたのでは話合いになりません。こちらが電気のことを勉強して、電力会社と対等に話せるぐらいにならないと、「電気のことを何にも知らない人が無理難題を押し付けてきているだけ」と受け取られてしまいます。それでは、相手を本気にさせることができません。

勉強とはいつても、電気の専門書を読むということではなく、電気の専門家である電力会社の人とたくさん話をすることで、その会話の中からヒントをもらい、知識を積み上げていくのです。

でも、話をしようとするときに、それぞれの人が自分の大事なことだけ見ていたら、目線が合わないままで対話できません。だから、テーブルをはさんで向かい合わせに座るのではなく、同じ側に並んで座ることが必要です。でもどうしたら、同じ側に座れるでしょうか。

電力会社は停電につながる事故が起きて欲しくない。電力会社は、不意に電気がストップするようなことが起きないようにする、大きな責任を負っているからです。そして僕は、ワシが感電して命を落とすようなことがなくなるようにしたい。オオワシやオジロワシは、絶滅の危機に陥っているからです。ここに、「ワシが感電して起きる停電をなくしたい」という共通のゴールが生まれます。同じゴールをもつことができれば、同じ方向を向いて歩き出すことができます。

人間が豊かさを求めれば野生生物にしわ寄せがいくこともあるし、絶滅の危機に陥った野生生物を守るためには、人間が何かを我慢するときがあるかもしれない。どうしたら、人間と野生生物と一緒に地球上で暮らし続けていけるだろうか。どうしたら折り合いがつけられるだろうか。僕が野生生物の獣医師としてやっていることは、この折り合いのつけ方を探り、世の中の人々に提案していくことだと思っています。

# 「<sup>ちが</sup>違い」って何だろう

## 様々な文化との関わり

私たちの生活が世界とつながるようになった。今、日本では、たくさんの方々が学んだり仕事をしたりして私たちが共に生活している。

違う文化との出会いは楽しい。でも、違う文化の人々が共に暮らしていくには、様々な困難がある。

私たちの日常生活でも、自分と相手の小さな「違い」を認められなかったり許せなかったりすることは多いだろう。

お互いの「違い」を認め合い、尊重し合う社会は、どうしたら実現できるだろう。



## 考えてみよう

● 様々な国や文化の人々が共に暮らす社会の良いところは何だろう。

● 様々な文化の人々が共に暮らす上で、難しいことはどんなことだろう。

## 話し合ってみよう

● 様々な国や文化の人々が、共に暮らすために大切なことは何だろう。

## 調べてみよう

● 身の回りには、どのような外国の文化があるのだろうか。

● 様々な文化の人々が共に暮らすために、地域では、どんな取組をしているのだろうか。

## 競争は悪いこと?

「競争」は相手との差を測るものだ。ときには、負けた人が傷つくこともある。親友と競わなければならない場面だってある。

競争なんて、ない方がいいのだろうか。

でも、負けたときの悔しさがあるから、「次こそは」と頑張れる。勝った時の達成感があるから、「次も」と頑張れる。

競争って、良いこと？ それとも、悪いこと？



●みんなで話し合ってみて、あなたの考えを書いてみよう。

## 考え、選択する



私たちは日々、大小様々な問題に遭遇し、その都度、意識・無意識を問わず、その時点において最善と思われる解を導き出し、選択して生活を送っている。

これまで幾多の選択を繰り返して、あなたは今ここにいます。であり、そして、これからも、たくさんの選択を繰り返して生きていくのだ。

どんな選択でも、真剣に悩んで出した結論は、それだけで価値がある。

安易に結論を出さず、ちよつと立ち止まって考えてみよう。

人生は選択の連続だ。

ちよつと立ち止まって考えてみよう

## 本当の幸せって何だろう？

幸せって何だろう。  
「何不自由なく生活できる人は幸せ」と言う人がいる。  
「昔の方が心が豊かで幸せだった」と言う人もいる。  
「今の社会は、豊かな生活に慣れすぎて、大切なものを見失っている」と言う人も。  
「そんなのぜい沢な悩みだ」と言う人も。  
今の私たちは幸せなのだろうか。  
幸せの条件ってあるのだろうか。

本当の幸せって何だろう？



●みんなで話し合ってみて、あなたの考えを書いてみよう。

## 親切って難しい？

勇気を出して、相手のことを思ってとった行動が、相手に受け入れられないと、恥ずかしくなったり、悲しくなったりする。  
そんなとき、考えてしまう。  
親切にしたつもりだったけれど、相手にとっては迷惑なことだったのかな。余計なことをしない方が良かったのかな。親切って難しい。

本当の親切って、何だろう？



●みんなで話し合ってみて、あなたの考えを書いてみよう。

道徳の時間に感じたこと、考えたこと

学年 月 日

私が出会った言葉、心に響いたあの一言葉

家族からのメッセージ

ページ	タイトル等	原作者等	出典・引用等
18	宇宙兄弟	小山宙哉	『宇宙兄弟 11巻』講談社
20	この人に学ぶ 松井秀喜	松井秀喜	『不動心』新潮社
35	秘密	柴田トヨ	『くじけないで』飛鳥新社
36	この人に学ぶ 湯川秀樹		湯川秀樹『湯川秀樹著作集1 学問について』岩波書店 より一部引用
42	この人に学ぶ 山中伸弥		緑慎也『山中伸弥先生に人生とiPS細胞について聞いてみた』講談社より一部引用
44	一本の道を	坂村真民	
52	この人に学ぶ 松下幸之助	松下幸之助	『松下幸之助「一日一話」』PHP 研究所
58	この人に学ぶ 若田光一	若田光一	高橋盛男構成「日本人の『思いやり』を世界が見ている」『PRESIDENT 2011年4月18日号』プレジデント社
84	ありがとう	柴田佳世子	『ありがとうー世界ー短い感謝状ー』RKB毎日放送ラジオ制作部、海鳥社編著
94	知命	茨木のり子	
126	二人の弟子	西野真由美	『中学校 読み物資料とその利用「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」』文部省
138	この人に学ぶ 西村雄一		西村雄一インタビュー「プロでも4級でもピッチで判断すべきことは同じ」webサイト『サカイク』イー・スリー より一部引用
140	二通の手紙	白木みどり	『中学校 社会のルールを大切にすることを育てる』文部省
146	什の掟	会津藩校日新館	
153	希望新聞	岩手県大船渡市立第一中学校	
165	いじめ撲滅宣言	東京都中学校生徒会長サミット	
170	読んでみよう はやぶさプロジェクト		川口淳一郎『はやぶさ、そうまでして君は 生みの親がはじめて明かすプロジェクト誕生秘話』宝島社 より一部引用
184	読んでみよう 鎌田 實	鎌田 實	『致知 2012年7月号』致知出版社
186	一冊のノート	北鹿渡文照	『中学校 読み物資料とその利用「主として集団や社会のかかわりに関すること」』文部省
205	日本一短い手紙	公益財団法人丸岡文化財団	
210	この人に学ぶ 西岡常一		西岡常一『木のいのち木のこころ』新潮社 西岡常一『宮大工棟梁・西岡常一「口伝」の重み』日本経済新聞出版社 『人生の言葉』編集部編『人生の言葉』日本ブックエース
231	卒業文集最後の二行	一戸冬彦	
242	多様性と共通性	中村 桂子	『多様性と共通性』を生命科学から読み解く』株式会社ヤクルト
242	生命誌絵巻		協力：団まりな 絵：橋本律子
246	立場の異なる人と同じゴールを見つけ出す	齋藤 慶輔	『野生動物のお医者さん』講談社

## 私たちの 道徳 中学校

発行 文部科学省  
〒100-8959  
東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

表紙 小河原政男  
デザイン 草至社  
イラスト アフロ、あらいみなこ、いとう良一、小河原政男、小田啓介、北沢優子、日下部謙太、堺雄二、関口拓志、茶山貴英、林健造、原田伸治、バルベック、樋口一裕、堀じゅん子、水上みのり、渡直也、plainpicture  
写真 アフロ、アフロディテ、アマナイメーجز、イメージナビ、大田区産業振興協会、緒方洪庵記念財団、咸宜園教育研究センター、共同通信社、京都市交響楽団、近現代 PL、講道館、金王八幡宮、埼玉県秩父市立影森中学校、佐賀県立博物館、山陽新聞社、渋沢史料館、松竹、女子栄養大学、東京新聞、同志社大学、同志社大学同志社史資料センター、新潟県五泉市立川東中学校、日本経済新聞社、日本俳優協会、パナソニック、廣瀬資料館、本田技研工業、毎日新聞社、松井秀喜ベースボールミュージアム、三重県立相可高校、メトロ文化財団、ヤマサ醤油、米沢市上杉博物館、読売新聞社、ロイター、和歌山県広川町教育委員会、Alamy、AP、Everett Collection、GAMMA、GYRO PHOTOGRAPHY、JAXA、JAMSTEC、JICA、JSA(日本国政府アンコール遺跡救済チーム)、JTB フォト、JT 生命誌研究館、Jリーグフォト、NPO法人杉原千畝命のビザ、Photofest、Photoshot、picture alliance、PIXTA、PPS通信社、Q PHOTO、SIME、UNHCR

### 保護者の方へ

- この本は、子供たちが人として心豊かに生きていくことができるようになることを願って、作成したものです。
- 学校では、道徳の時間やその他の学習活動を通じて活用します。
- 御家庭でも、この本を開いて、一緒に考えたり話し合ったりして、子供たちの豊かな心の成長に役立ててくださいようお願いします。

日本音楽著作権協会(出)許諾第1315951-504号

年 月 日

将来の夢	夢中になつてゐる人	自分の「ごごな」と思つてゐる所	好きな言葉	好きなスポーツ
				好きな歌
	感動したこと	自分の直したい所	一番楽しつてゐる	目標にしたい人
				心に残つた本

# 今の私

# 巣立ちのとき